



外国出張報告書

平成27年 6月 12日

1. 出張国名 タイ
2. 出張月 平成27年5月
3. 出張目的 東北タイにおける低適性土壌改良試験に係る現地測定：C

4. 成果の概要

コンケンにおいて2014年7月から開始した、保水性の低い砂質土壌の苗畑に土壌改良資材（ベントナイト・炭）を添加してチーク苗を植栽する試験について、今回の出張では乾季と雨季の境目の時期のチークの成長と光合成速度、水利用特性に関する測定を行った。その結果、成長については、炭のみを添加した処理区で根元の直径が大きくなっていた。またいずれの処理区でも、午後に光合成速度、気孔コンダクタンスが大きく低下し、しおれた葉が多く見受けられた。水ポテンシャルは、最大値を示す明け方にも多くの処理区で低い値を示し、深刻な水ストレスを受けていた。一方、ベントナイトを添加した処理区は、明け方の水ポテンシャルは高い値を示した。ベントナイトの処理区のチークは夜間に水を吸収して回復できたと考えられる。